

石川県内の企業・団体で働く

女性管理職のロールモデルにインタビュー！



はくさん信用金庫

事業先支援部 副部長 上田 美紀 さん

<プロフィール>

- ・卒業後、鶴来信用金庫（現：はくさん信用金庫）に就職
- ・H28 支店長（管理職）に就任
- ・R4～ 現職

Q 現在のお仕事について教えてください

A 事業所の皆さんへの事業性融資や、企業のお手伝いのほか、各営業店の管理等をしている部署の副部長として働いています。

IDECO などの金融商品やローン商品の取扱い、顧客である企業の皆さんへのセミナーの企画など何でも幅広くやっています！

Q 支店長（管理職）の就任を打診された際にどんなことを感じましたか？

A 営業店をまとめるポジションになるということで、「私で大丈夫かな、、、」と不安が大きくて1,2日悩みましたね。でも、今までの仕事ぶりを認めてもらったのかな、与えられていたチャンスをちゃんと活かすことができているのかなと嬉しい気持ちもありましたね。

でも、実は私、全然覚えてないですけど、入社2年目の時に同期の子に「初の女性支店長になる！」って宣言してたようなんです（笑）。それで結局、当時の金庫の3代目の女性支店長に就任させてもらったので、潜在意識では、「いよいよきたか！」と思っていたのかもかもしれません（笑）。

Q 管理職に就いてから変化したことを教えてください

A 自分がやりたいと思っていたセミナーの企画や社外の方々と交流できるイベントへの参加など、今まで以上にたくさんの場を与えてもらえましたね。もちろん、その分難しさも感じますが、色々やりたいことやらせてもらえて、ありがとうございますっていう気持ちの方が強いですね。

Q 管理職としての難しさを感じるのはどんな時ですか

A もちろん数字の達成や上と下の板挟みという難しさもありますけれど、VUCAの時代ですから、今までと同じことをしていてもダメで、時代に合わせてやり方を変えないといけないことが一番難しいですね。私が若い時は、「背中を見て学べ！」なんて言われて、「背中から何を学ぶんや！」って思っていましたけど、今はそういうわけにはいきませんから(笑)。

私が今までしてもらったことを、今度は私が若い子達にしていく立場になります。これからを背負って立つ人材の育成のため、プロジェクトへの参加や企画などの“きっかけ”を用意し、後輩達が成功体験を積んで自信を持てる機会をどんどん創出していきたいです。

Q 管理職になる上で身に付けておく良いことはありますか？

A 「コミュカ」と「やる気」ですね！(笑)

他にも、業務に関する勉強をすることは当然ですが、プライベートを充実させるための趣味は大切ですね。仕事とプライベートのオンとオフの切り替えをしっかりとしないと両方上手くいかなくなってしまいます。

私は人と話すのも好きだし、こう見えても(?)サーファーです。最近はめっきり「陸(おか)サーファー」ですけど(笑)。



「“仕事”は何を求められているか自分で考えて行動に移すことであり、“作業”は言われたことをやることで、全くの別物です。」と話す上田さん。

せつかく1日の長い時間を仕事に費やすなら、楽しくやりましょと笑顔で話されました。

Q 最後に、管理職にネガティブなイメージを持っている後輩へ一言メッセージをお願いします



インタビュー中も元気ハツツで、職場の上司の方からは、「若手職員の指導だけでなく、最近は自身のレベルアップを図るためより積極的に業務に取り組んでいます、何より毎日元気でポジティブです。」とコメントをいただきました。

A 誰しもが管理職になれるわけではないので、ぜひチャンスがあれば経験して欲しいです。大変なだけではなく、自分の裁量で仕事ができ、より達成感を味わうこともできます。そして、楽しく仕事をしている姿を若い人達に見せて、後に続く人を増やして欲しいなと思います。

たまに「管理職になりたくないですよ〜」って言う若い人達がありますが、そういう人達には「いや、なれんから大丈夫やよ。」って言います(笑)。

希望しても誰もかなれるポジションではないですから、ぜひ管理職になるチャンスをつかんだ人達には、勇気を出して管理職になって羽ばたいて欲しいです！